

高円宮杯2015ホッケー日本リーグ 【女子】 第 5 節 第 10 日

開催日時 10 月 11 日 (日) 会場 日光市ホッケー場 天候 雨時々曇り

【全試合結果】

第1試合 10:00～

ソニーHC BRAVIA Ladies	8	$\begin{pmatrix} 2-0 \\ 2-1 \\ 4-1 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	2	山梨学院CROWNING GLORIES
8 勝 1 分 0 敗 勝点 25				勝点 15 5 勝 0 分 4 敗

第2試合 10:00～

駿河台大学LADYBIRDS	3	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-0 \\ 0-0 \\ 2-0 \end{pmatrix}$	0	聖泉大学
1 勝 0 分 8 敗 勝点 3				勝点 0 0 勝 0 分 9 敗

第3試合 11:40～

コカ・コーラウエストレッドスパークス	5	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-1 \\ 3-0 \\ 1-0 \end{pmatrix}$	1	天理大学ベアーズ
8 勝 0 分 1 敗 勝点 24				勝点 12 4 勝 0 分 5 敗

第4試合 11:40～

南都銀行SHOOTING STARS	2	$\begin{pmatrix} 1-0 \\ 0-1 \\ 1-0 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	1	東海学院大学
7 勝 1 分 1 敗 勝点 22				勝点 13 4 勝 1 分 4 敗

第5試合 13:50～

グラクソ・スミスクラインOrange United	1	$\begin{pmatrix} 0-0 \\ 1-0 \\ 0-1 \\ 0-0 \end{pmatrix}$	1	立命館大学ホリーズ
3 勝 1 分 5 敗 勝点 10				勝点 8 2 勝 2 分 5 敗

【各試合の結果・詳細】

第1試合

ソニーHC BRAVIA Ladies 8 $\begin{pmatrix} 2 & - & 0 \\ 2 & - & 1 \\ 4 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 2 山梨学院CROWNING GLORIES

勝点 25

勝点 15

8 勝 1 分 0 敗

5 勝 0 分 4 敗

得点	ソニー→9分坂井、15分金、17分瀬川、21分山本、33分永井、38分坂井、43分中島、44分永井		
	山梨学→18分河村、31分鈴木		
戦評	ソニーのセンターパスにより試合が開始された。序盤から速いパスワークでソニーが試合の主導権を握る。9分、ソニーはPCを獲得し、#4坂井がゴール左下に決め先制する。また、15分にもPCを獲得し、ソニー#9金のタッチシュートで追加点、2-0とリードする。第2Q、攻撃の手を緩めないソニーは17分、#21瀬川がゴール前の混戦から押し込み3-0。一方の山梨学は18分、右からのセンターリングを#12河村が合わせて1点を返す。しかし、ソニーは21分、#20山本がPCリバウンドを決め、4-1で第2Qを折り返す。第3Q、点差を縮めたい山梨学は31分、カウンターから#6鈴木が決める。しかし、ソニーはこの流れを断ち切るかのように33分に#19永井、38分にはPCから#4坂井、43分に#10中島、44分に#19永井と連続得点をあげ、8-2と一気に山梨学を突き放す。第4Qは両者得点がなく、ソニーが8-2の大差で勝利した。ソニーは勝点25とした。		
テクニカルオフィサー	駒田 文雄	アンパイア	我妻 順子
ジャッジ	荻谷 和代・植村 佳央梨・福田 美由紀		根岸 郁美

第2試合

駿河台大学LADYBIRDS 3 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 0 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 聖泉大学

勝点 3

勝点 0

1 勝 0 分 8 敗

0 勝 0 分 9 敗

得点	駿河台→10分小川、52分下向、52分松本		
戦評	聖泉のセンターパスにより試合が開始された。序盤は両者とも静かな立ち上がりとなったが、徐々に駿河台ペースになり、10分にPCを獲得すると、#4小川のシュートが決まり、駿河台が先制する。その後も駿河台ペースで試合が進み、第1Qは1-0でリードする。第2Qも立ち上がりから駿河台が優位に試合を運ぶが、お互いにシュートまで持ち込むことができず、そのまま1-0で第2Qを折り返す。第3Qも両者無得点のまま終了する。第4Qも両者とも決め手がないまま試合が進んだが、駿河台は52分に#7下向、続く52分#21松本が連続得点を決め、3-0で駿河台が勝利した。駿河台は今季初勝利で勝点3とした。		
テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア	亀田 和美
ジャッジ	木村 正直・福田 裕美・伊豆味 櫻		藤原 真由美

ホッケー日本リーグ機構

第3試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス 5 $\begin{pmatrix} 0 & -0 \\ 1 & -1 \\ 3 & -0 \\ 1 & -0 \end{pmatrix}$ 1 天理大学ベアーズ

勝点 24

勝点 12

8 勝 0 分 1 敗

4 勝 0 分 5 敗

得点	CCW→18分新井、32分小野、37分新井、41分加藤、53分新井		
	天理→21分松本		
戦評	<p>天理のセンターパスにより試合が開始された。序盤から速いパス展開で攻めるCCWと、堅い守備からカウンターを狙う天理との激しい攻防が続き、第1Qは0-0で終わる。均衡が破れたのは第2Qの18分、PCを獲得したCCW#9新井のタッチシュートが決まり、CCWが先制する。天理も21分、PCから#10松本の強烈なシュートが決まり、1-1の同点に追いつく。その後も激しい攻防が続くが決め手を欠き、1-1で第2Qを折り返す。第3Q、CCWは32分、PCから#8小野が冷静にゴールを決め、2-1と再びリードする。その後も天理のGK#1中村らDF陣が体を張った守備で得点を阻止するが、CCWは37分、PCのこぼれ球を#9新井が押し込み追加点をあげると、続く41分、PCから#13加藤のタッチシュートがゴール左下に決まり、4-1と点差を離す。第4Qも激しい攻防が続く中、CCWは53分、サークル内でパスを受けた#9新井が落ち着いて決め、5-1と試合を決定づける。CCWが5-1で勝利し、勝点24とした。</p>		
テクニカルオフィサー	和田 千恵子	アンパイア	西澤 英一郎
ジャッジ	福田 裕美・松葉 美穂・鈴木 岳穂		氏家 健太

第4試合

南都銀行SHOOTING STARS 2 $\begin{pmatrix} 1 & -0 \\ 0 & -1 \\ 1 & -0 \\ 0 & -0 \end{pmatrix}$ 1 東海学院大学

勝点 22

勝点 13

7 勝 1 分 1 敗

4 勝 1 分 4 敗

得点	南都→5分小森、36分野村		
	東海学→19分中花		
戦評	<p>東海学のセンターパスにより試合が開始された。序盤から南都のペースで試合が進み、5分に南都FW#15小森のゴールで先制し、1-0でリードする。その後も南都はチャンスをつくるが、得点することができない。第2Qも南都ペースで試合が進んでいたが、東海学は19分にPCを獲得し、こぼれ球を#24中花が押し込み、同点に追いつく。この得点により試合の流れは東海学となる。第3Qの36分、ゴール前の混戦から南都#9野村の押し込みで2-1となり、南都はリードを広げる。このまま南都が流れを掴んだかと思われたが、東海学も粘りを見せ、流れを一方的にしなかった。第4Qも両者とも得点できず、2-1のまま南都が勝利し、勝点22とした。</p>		
テクニカルオフィサー	竹内 芳郎	アンパイア	山田 恵美
ジャッジ	松崎 鼓・勝又 舞・鈴木 明美		相馬 知恵子

ホッケー日本リーグ機構

第5試合

グラクソ・スミスクラインOrange United 1 $\begin{pmatrix} 0 & - & 0 \\ 1 & - & 0 \\ 0 & - & 1 \\ 0 & - & 0 \end{pmatrix}$ 1 立命館大学ホリーズ

勝点 10

勝点 8

3 勝 1 分 5 敗

2 勝 2 分 5 敗

	PC	
	シュート数	

得点	GSK→29分片峯		
	立命館→37分一谷		
戦評	<p>立命館のセンターパスにより試合が開始された。立命館がやや優位に試合を展開するがゴールを決めきれない。一進一退の攻防が続き、0-0のまま第1Qが終了する。</p> <p>第2Q開始早々、GSKがPCを獲得するが、立命館GK#1要石の好セーブで得点できず。立命館も打ち込みからタッチシュートを狙うが得点することができない。第2Q終了間際の29分、GSKはPCを獲得し、これを#8片峯が落ち着いてゴール左下に決め、GSKが先制する。</p> <p>第3Q、37分に立命館がPCを獲得し、ゴール前の混戦でこぼれたボールを#17一谷が押し込み、立命館が1-1の同点に追いつく。</p> <p>第4Q、立ち上がりから激しい攻防が続く。52分、立命館は右サイドの展開からチャンスをつくるが、GSKグラクソのGK#1川村に阻まれ、得点することができない。その後も両者譲らず、1-1のまま試合終了し、GSKが勝点10、立命館が勝点8とした。</p>		
テクニカルオフィサー	安枝 和子		アンパイア
ジャッジ	星 めぐみ・若林 美枝・島田 若菜		元宗 宏寿 栗原 崇